

(別紙5)

整理番号 2021P-102

補助事業名 2021年度 実践的研究を通じた人間力育成支援活動 補助事業

補助事業者名 三重県立津工業高等学校

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

工業高校生が授業・実習で学んだ知識・技能を十分に発揮できるモノづくりの実践教育を目指す。工業高校生は、授業・実習を通し知識・技能を積んでいる。しかし、それらを使いこなす“モノづくり”を実践として体験しておらず、学習内容の真の理解は困難である。そこで、工業高校の総合実習を計画、実施をしたい。これらの結果として、モノづくりの魅力を理解させ、工業人としての倫理観や協調性を養い、生徒自身が広い視野で職業選択を実現することを目指す。

(2) 実施内容

自作50ccエンジンを搭載した自作バギーカー（ゼロハンカー）を製作し2回のレースに参加する。

- ・ 12月26日 第19回全日本高等学校ゼロハンカー大会

全国の工業高校が参加するゼロハンカーレースである。津工業高校が挑戦してきたゼロハンカーレースの中で最高である3位入賞となった。



写真1 決勝



写真2 集合写真

- ・ 2月20日 第13回全日本EV&ゼロハンカーレース

社会人や大学生なども参加できるレースであるが、新型コロナウイルスのまん延防止により開催中止となった。大会予定日であった2月20日に本校において貴財団より完成車両の撮影と取材をいただきました。



写真3 走行試験



写真4 撮影取材

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

- ・実践に近いものづくりを通し、本当のものづくりの楽しさを生徒が実感できる。
- ・仲間たちとのコミュニケーションや連携することの大切さを学ぶことができる。
- ・生徒の思考力、創造力を深めるとともに、技術、技能を高めることができる。
- ・成功体験を通し生徒自身が自信をつけ、意欲を高めることができる。
- ・事業の成果を広くアピールし、さらに発展したモノづくりの展開が期待できる。
- ・製作した車両を展示することで、地域や中学生に工業高校の魅力が発信できる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの 自作エンジンとゼロハンカー



(2) (1) 以外で当事業において作成したものの イベントにて本事業を情報発信した際に 使用したポスター

三重県立津工業高等学校 機械研究部

ゼロハンカー

50ccのエンジンを搭載した自作バギーカー

12月岡山、2月広島で行われる競技会に
向けて活動しています

パイプの切断、曲げ、溶接から仕上げ、塗装、フライス、マシニングセンター、エンジン整備
配線作業、塗装、CADに至るまで、ゼロハンカーには機械科で学ぶすべてが詰まっています。
津工業高等学校機械研究部は、毎年2台の新車を生徒だけでイチから製作し参加しています。

自作2ストロークエンジン搭載車も開発中

KEIRIN 00 三重県立津工業高等学校 機械研究部の活動は、「公益財団法人JKA」から補助事業の交付を受けています。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 三重県立津工業高等学校（ミエケンリツツコウギョウコウトウガッコウ）

住所： 〒514-0823

三重県津市半田534

代表者： 校長 野垣内 靖（フリガナ）ノガイト ヤスシ

担当部署： 機械科（フリガナ）キカイカ

担当者名： 教諭 上村 雄二（フリガナ）ウエムラ ユウジ

電話番号： 059-226-2016

F A X： 059-224-8781

E - m a i l： uemura.yu@mxs.mie-c.ed.jp

U R L： <http://www.mie-c.ed.jp/ttu/html/top.htm>